

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年(2020年)6月30日

枚方市長 殿



提出者

住 所 枚方市中宮大池1丁目1番1号

氏 名 株式会社クボタ 枚方製造所

所長 金 本 吉 郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-840-1021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元(2019)年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社クボタ 枚方製造所
事業場の所在地	枚方市中宮大池1丁目1番1号
事業の種類	26:生産用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年(2019年)4月1日～令和2年(2020年)3月31日

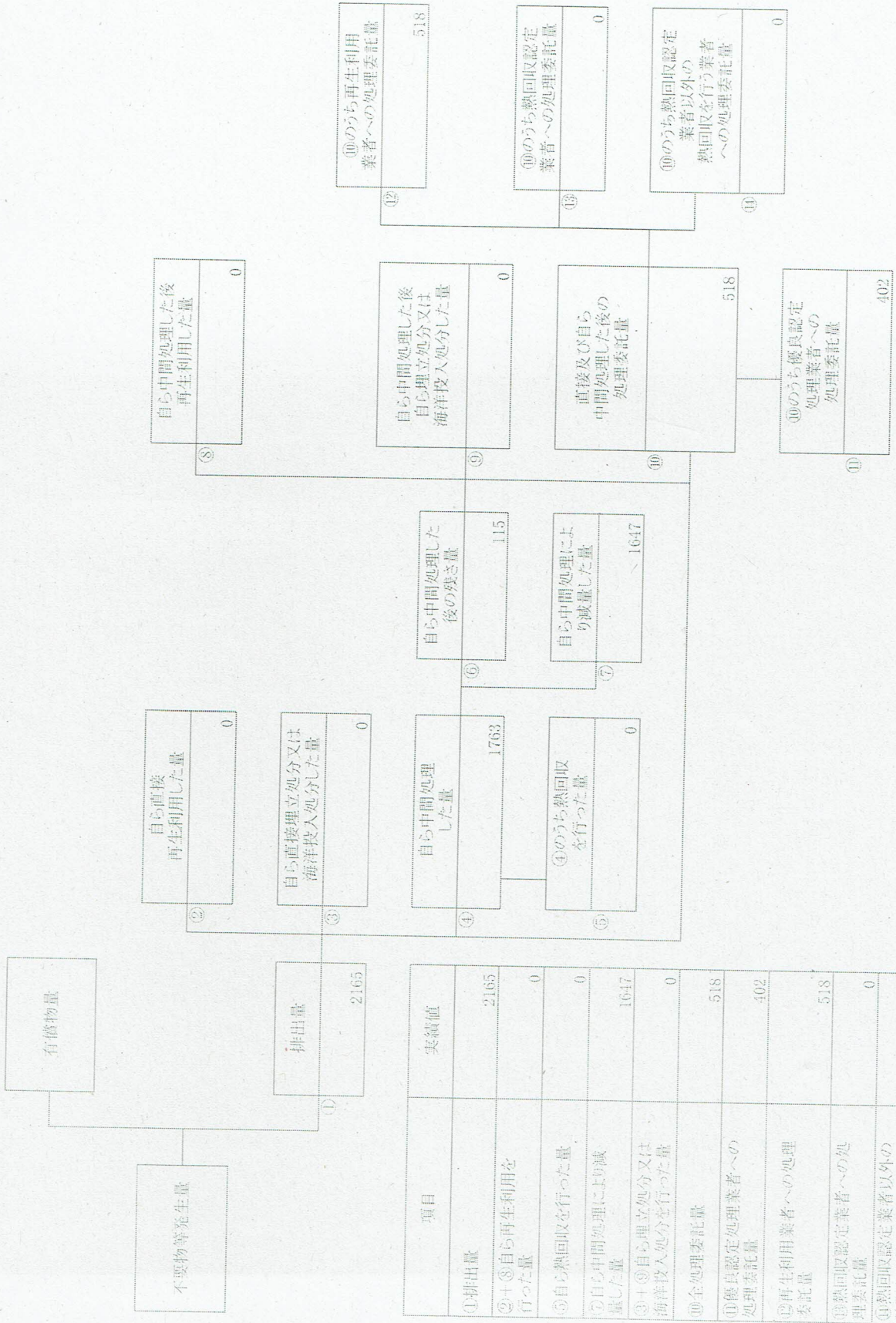
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	5466 t	全 処 理 委 託 量	3453 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1460 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3343 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2013 t	認定熱回収業者への処理委託量	77 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

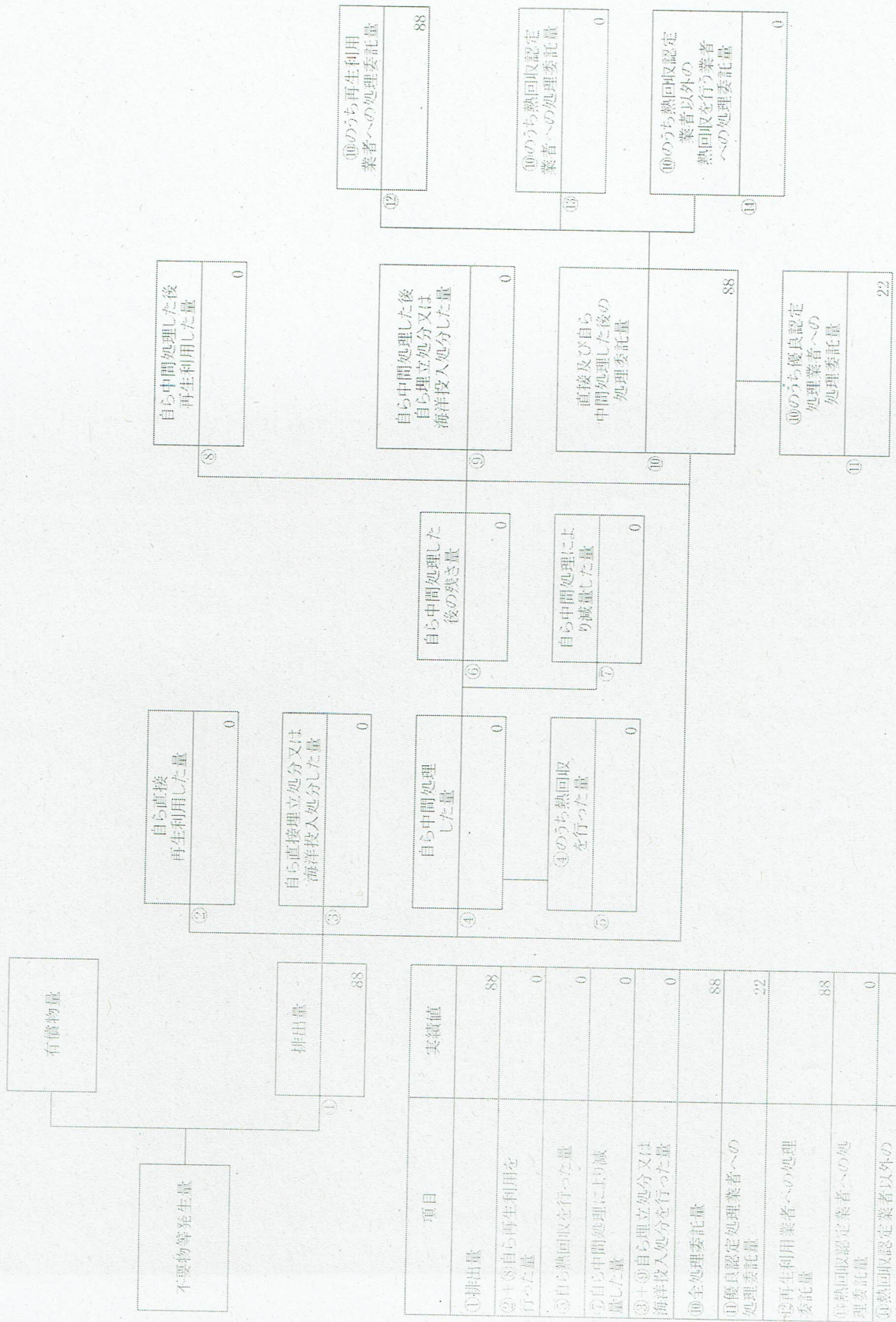
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：①無機性汚泥)



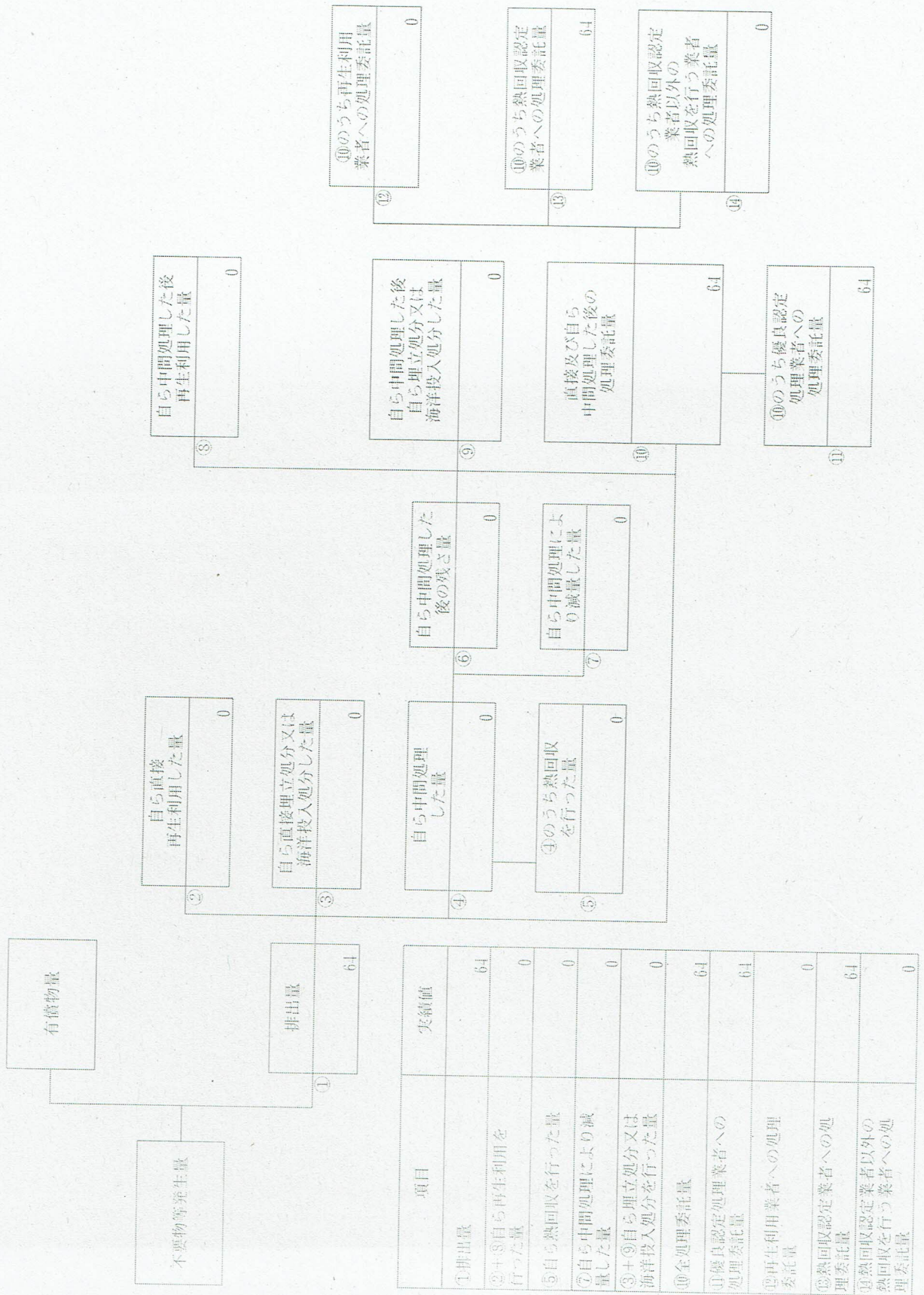
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②有機性汚泥)



計画の実施状況

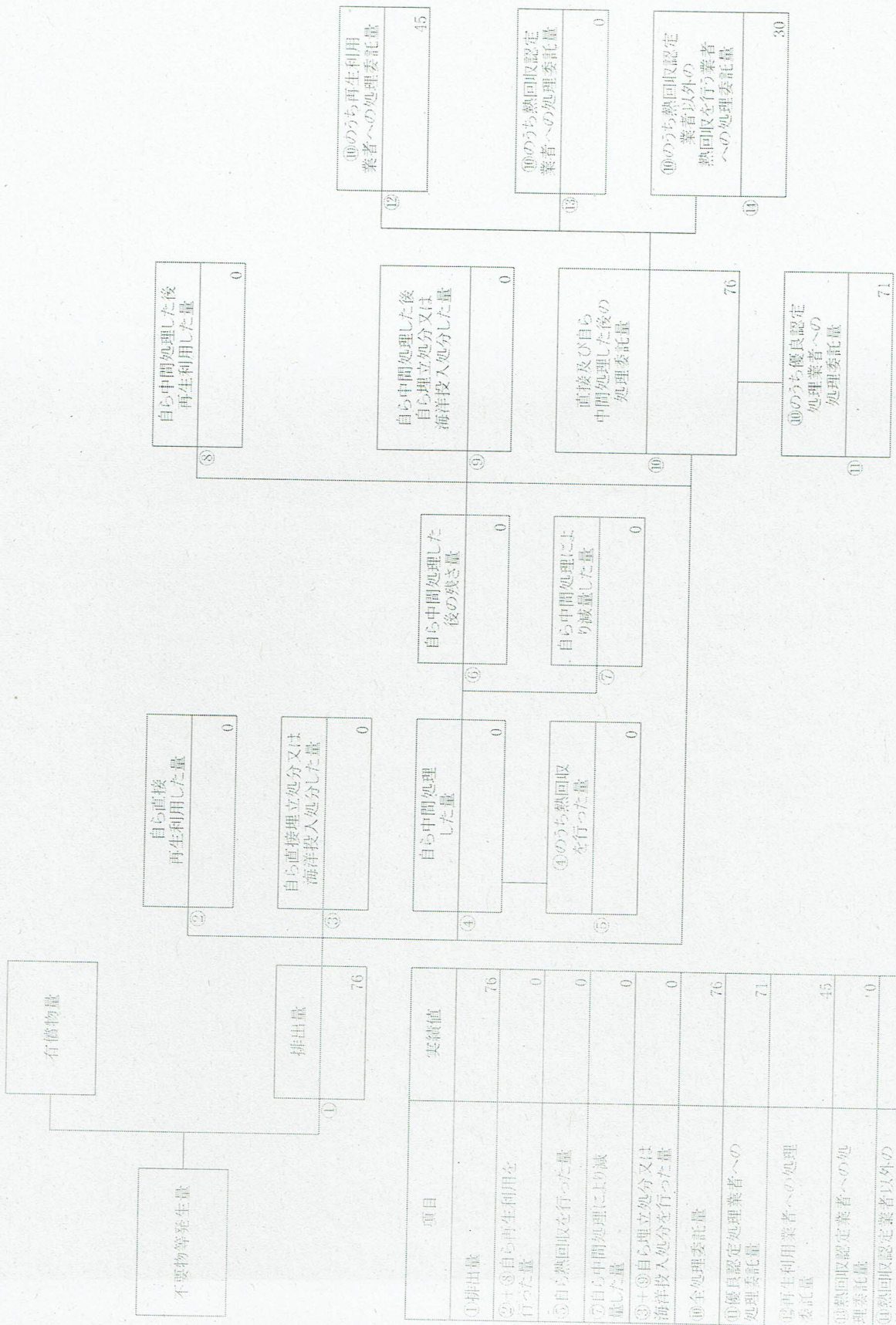
(産業廃棄物の種類: ③汚泥)



(産業廃棄物の種類：①鉱物系廃油)

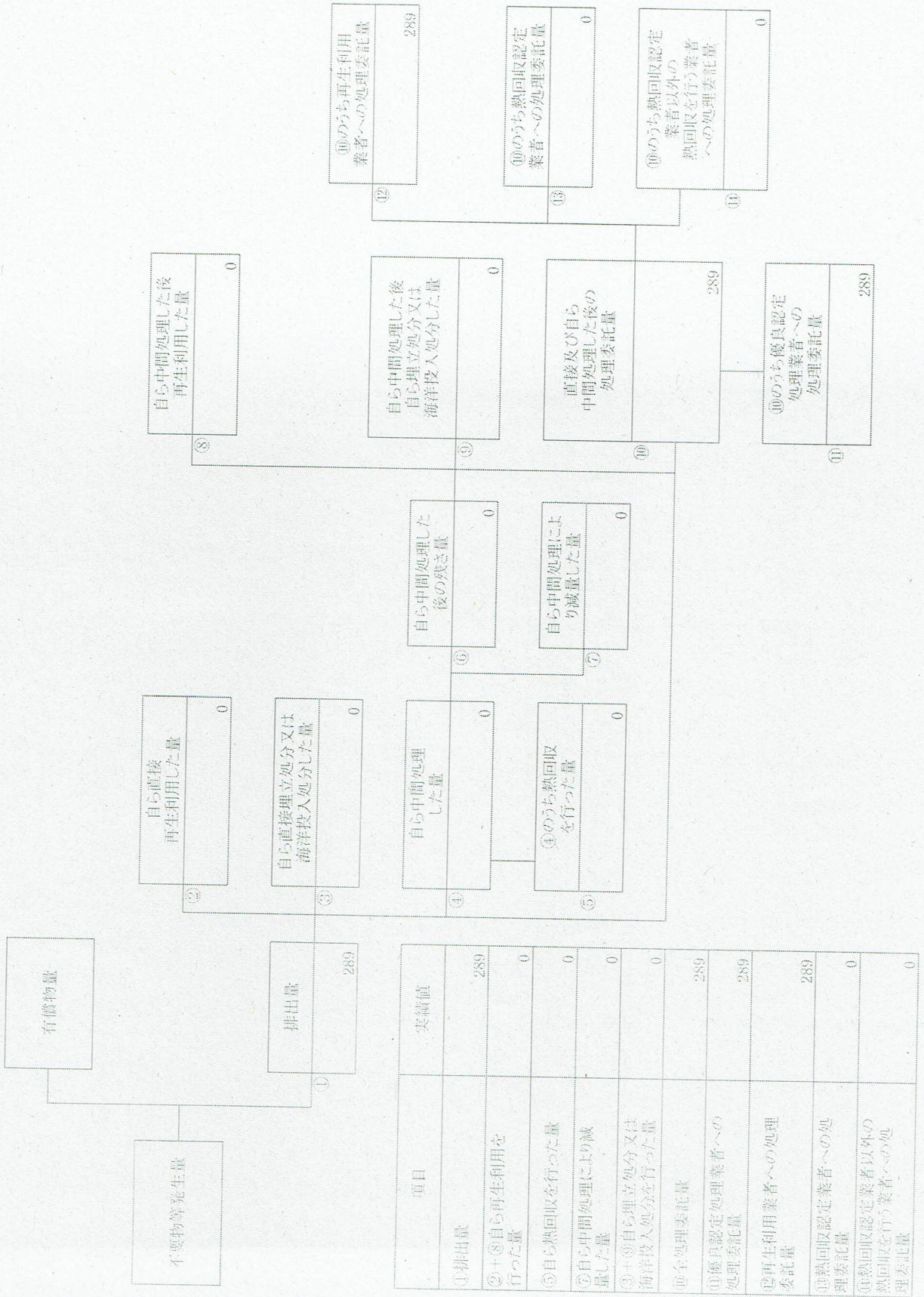
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃油)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥一般廃油)



著者 小島 俊彦
 発行 1997年12月
 発行所 日本経済新聞社
 価格 1,200円
 定価 1,200円
 発行部数 10,000部
 印刷部数 10,000部
 印刷所 日本経済新聞社印刷部
 印刷年 1997年12月
 印刷部数 10,000部

(産業廃棄物の種類：7) 油泥

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧写真定着廃液)

項目	実績値
①排出量	5
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外への処理委託量	0
⑮熱回収を行う業者への処理委託量	0

有償物量	不要物等発生量	排出量	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			5														
				自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外への処理委託量	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量
				0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0

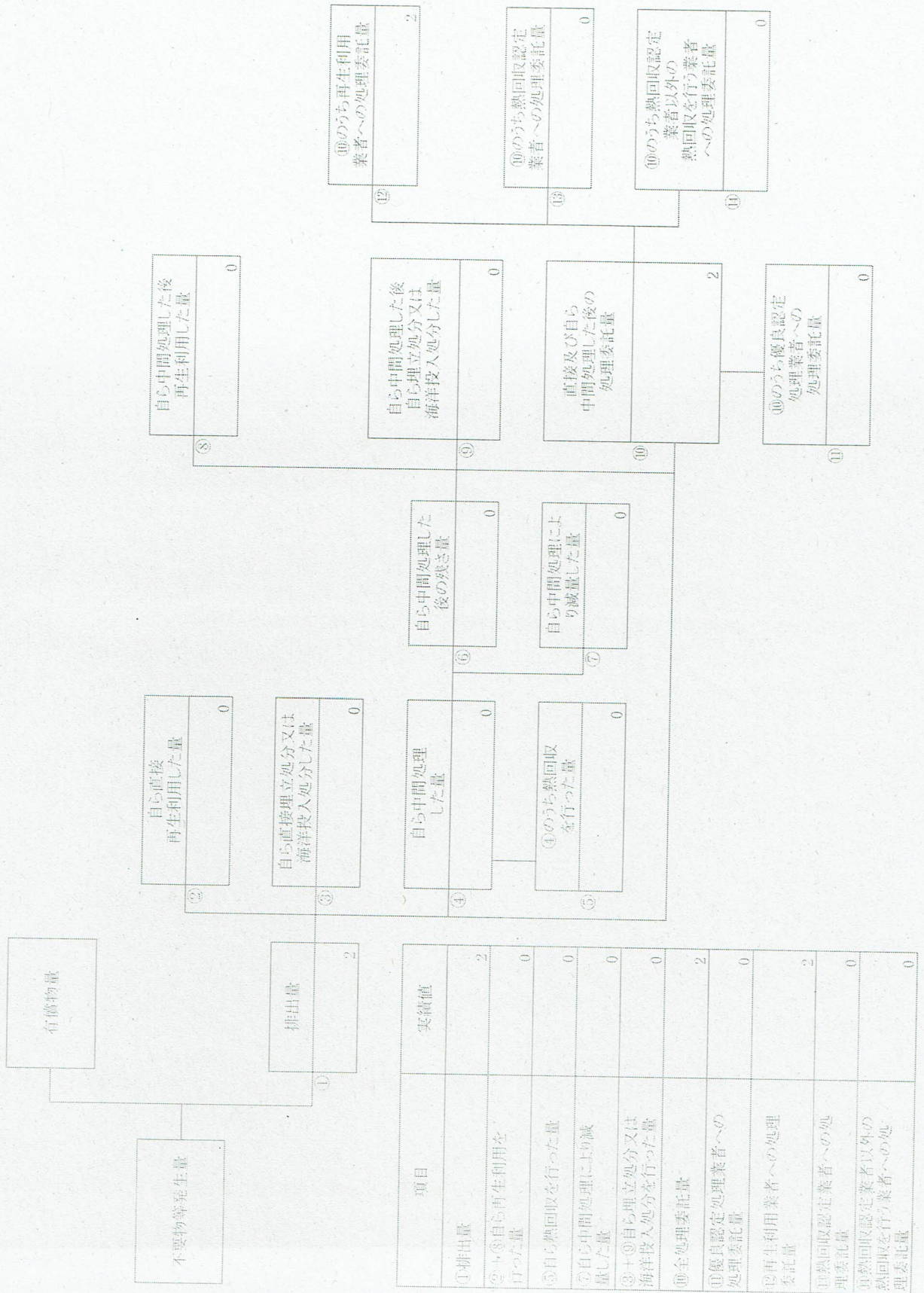
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨廃酸)

有償物量		不要物算発生量		排出量		実績値	
				①	4	①排出量	4
② 自ら直接再生利用した量		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		④ 自ら中間処理した量	0	②+③自ら再生利用を行った量	0
0		0		⑤ ④のうち熱回収を行った量	0	⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量		⑥ 自ら中間処理した後の残量		⑦ 自ら中間処理による減量した量	0	⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
0		0		⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	4	⑩全処理委託量	4
⑨ ⑧のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量		⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	4	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	4
0		0		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0	⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑪のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
0		0		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑭ 熱回収を行わず業者への処理委託量	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑪のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量		⑮ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑮ 熱回収を行わず業者への処理委託量	0
0		0		⑯ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑯ 熱回収を行わず業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩写真現像液)



(産業廃棄物の種類：①廃アルカリ)

三十一の實施状況

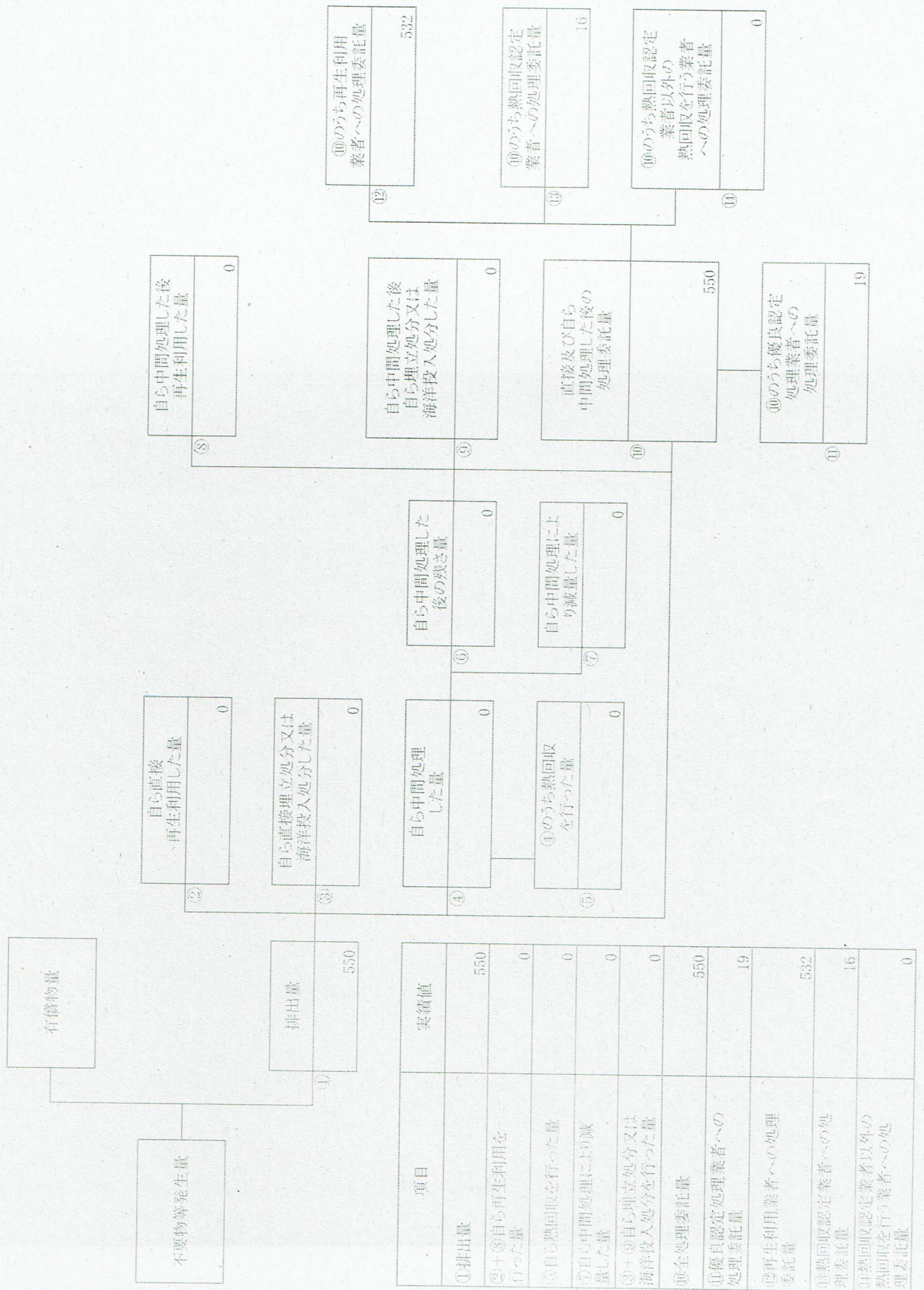
(産業廃棄物の種類：⑫廃プラスチック類)

日本書紀卷之六 推古天皇
推古天皇六年 乙未年
推古天皇七年 丙申年
推古天皇八年 丁酉年
推古天皇九年 戊戌年
推古天皇十年 己亥年
推古天皇十一年 庚子年
推古天皇十二年 辛丑年
推古天皇十三年 壬寅年
推古天皇十四年 癸卯年
推古天皇十五年 甲辰年
推古天皇十六年 乙巳年
推古天皇十七年 丙午年
推古天皇十八年 丁未年
推古天皇十九年 戊申年
推古天皇二十年 己酉年
推古天皇二十一年 庚戌年
推古天皇二十二年 辛亥年
推古天皇二十三年 壬子年
推古天皇二十四年 癸丑年
推古天皇二十五年 甲寅年
推古天皇二十六年 乙卯年
推古天皇二十七年 丙辰年
推古天皇二十八年 丁巳年
推古天皇二十九年 戊午年
推古天皇三十年 己未年
推古天皇三十一年 庚申年
推古天皇三十二年 辛酉年
推古天皇三十三年 壬戌年
推古天皇三十四年 癸亥年
推古天皇三十五年 甲子年
推古天皇三十六年 乙丑年
推古天皇三十七年 丙寅年
推古天皇三十八年 丁卯年
推古天皇三十九年 戊辰年
推古天皇四十年 己巳年
推古天皇四十一年 庚午年
推古天皇四十二年 辛未年
推古天皇四十三年 壬申年
推古天皇四十四年 癸酉年
推古天皇四十五年 甲戌年
推古天皇四十六年 乙亥年
推古天皇四十七年 丙子年
推古天皇四十八年 丁丑年
推古天皇四十九年 戊寅年
推古天皇五十年 己卯年
推古天皇五十一年 庚辰年
推古天皇五十二年 辛巳年
推古天皇五十三年 壬午年
推古天皇五十四年 癸未年
推古天皇五十五年 甲申年
推古天皇五十六年 乙酉年
推古天皇五十七年 丙戌年
推古天皇五十八年 丁亥年
推古天皇五十九年 戊子年
推古天皇六十年 己丑年
推古天皇六十一年 庚寅年
推古天皇六十二年 辛卯年
推古天皇六十三年 壬辰年
推古天皇六十四年 癸巳年
推古天皇六十五年 甲午年
推古天皇六十六年 乙未年
推古天皇六十七年 丙申年
推古天皇六十八年 丁酉年
推古天皇六十九年 戊戌年
推古天皇七十年 己亥年
推古天皇七十一年 庚子年
推古天皇七十二年 辛丑年
推古天皇七十三年 壬寅年
推古天皇七十四年 癸卯年
推古天皇七十五年 甲辰年
推古天皇七十六年 乙巳年
推古天皇七十七年 丙午年
推古天皇七十八年 丁未年
推古天皇七十九年 戊申年
推古天皇八十年 己酉年
推古天皇八十一年 庚戌年
推古天皇八十二年 辛亥年
推古天皇八十三年 壬子年
推古天皇八十四年 癸丑年
推古天皇八十五年 甲寅年
推古天皇八十六年 乙卯年
推古天皇八十七年 丙辰年
推古天皇八十八年 丁巳年
推古天皇八十九年 戊午年
推古天皇九十年 己未年
推古天皇九十一年 庚申年
推古天皇九十二年 辛酉年
推古天皇九十三年 壬戌年
推古天皇九十四年 癸亥年
推古天皇九十五年 甲子年
推古天皇九十六年 乙丑年
推古天皇九十七年 丙寅年
推古天皇九十八年 丁卯年
推古天皇九十九年 戊辰年
推古天皇一百年 己巳年

(産業廃棄物の種類: ⑬木くず)

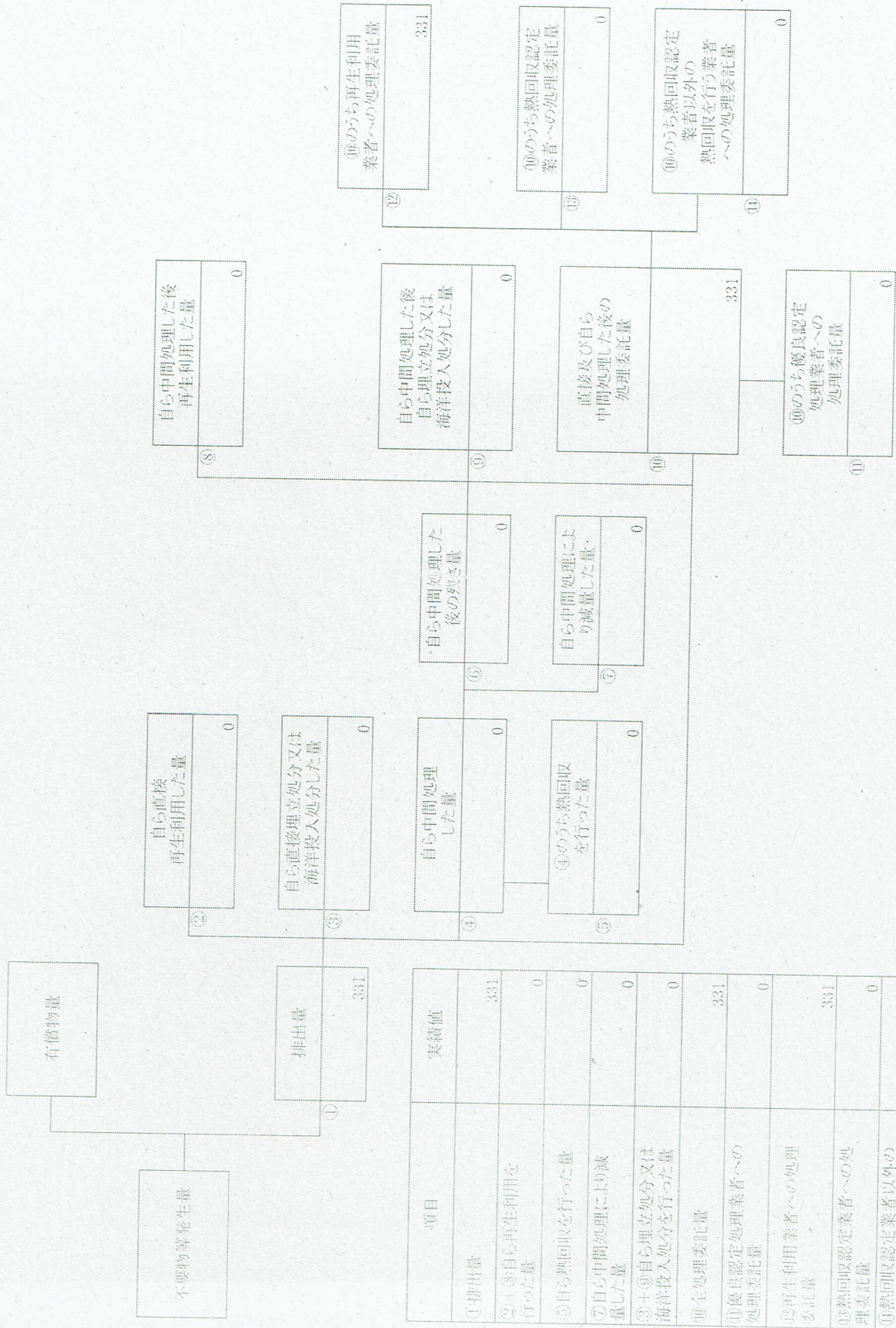
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑪陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑮鉄くず)



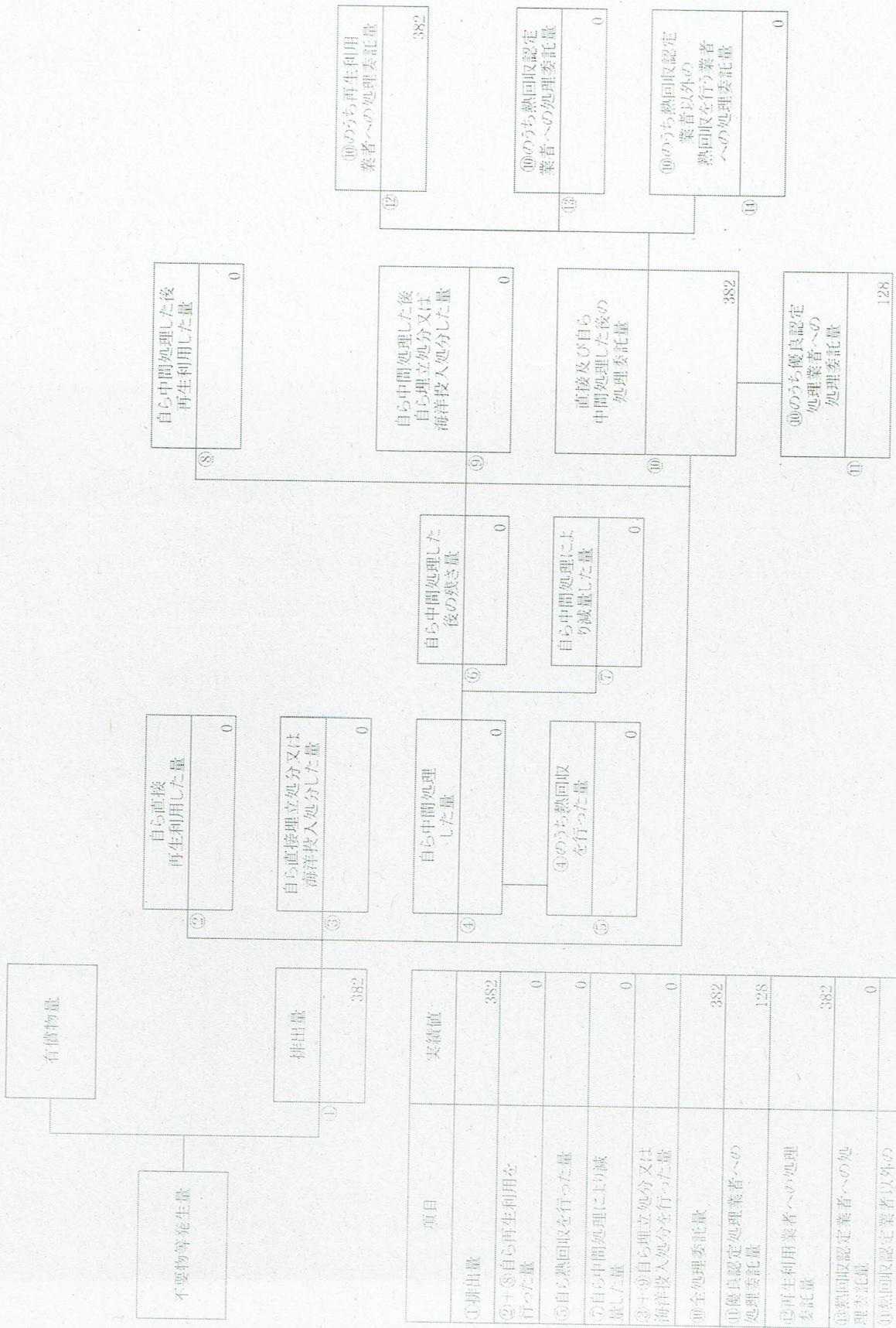
(産業廃棄物の種類: ⑩スラグ)

計画の実施状況

有償物量		② 自ら直接 再生利用した量		⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		0		0		448	
排出量		③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
448		0		0		0	
① 実績値		④ 自ら中間処理 した量		⑥ 自ら中間処理した 後の残量		⑬ ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
448		0		0		0	
②+③ 自ら再生利用を 行った量		⑤ ④のうち熱回収 を行った量		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		⑪ ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
0		0		0		0	
⑤ 自ら熱回収を行った量							
0							
⑦ 自ら中間処理により減 量した量							
0							
③+④ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量							
0							
⑩ 全処理委託量							
448							
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量							
0							
⑫ 再生利用業者への処理 委託量							
448							
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量							
0							
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量							
0							

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦鉱さい)



(産業廃棄物の種類: ⑧がれき類)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。